



| | |
|----------------|----------|
| 笹賀の世帯数・人口 | |
| 世帯数 | 4,526 世帯 |
| 人口 | 10,935 人 |
| 男 | 5,512 人 |
| 女 | 5,423 人 |
| (平成 31.1.1 現在) | |

笹賀の稲村さん二子小で書初め指導 3年から6年の国語科「書写」学習支援

松本市立二子小学校は12月3日から17日の間、笹賀地区在住の書道家、稲村茂吉さん(88)を講師に「国語科(書写)」の学習支援授業を行いました。3年生から6年生までの8学級の児童が、校舎内のプレイルームで書初めの指導を受けました。

習字と書道と書写

筆で字を書く学習を、書道や習字とは言わず「書写」という国語科の教科になって50年近い歳月を数えています。文字のまとまった学習は、小学校入学を期に始まりますが、教育の現場において「文字に関する事項」や「書くこと」の領域の指導は、日常活動や学習活動に生かすことのできる「書写」の能力を育成することが重要、と言われていています。



交流で心豊かに

「書写」の外部指導者を探していた二子小学校の依頼に、笹賀公民館が笹賀地区福祉ひろばで書道講師を20年以上務める稲村さんを推薦し、学習支援をお願いしました。二子小学校は普段から地域との連携を持ち、世代間交流を深めながら学校運営を進めてきています。クラブの時間では数種類の科目に地域の指導者を講師に招いて活動し、朝夕の登下校では、子ども安全サポートが学校と手を取り合って見守りに協力しています。

書に親しむ人生

稲村さんは書道歴20年を数えますが、本格的に始めたのは65歳からだそうです。現在は



は日本書道教育会の師範認定資格を有し、稲村梨流の号を持つ漢字師範書道教授として活動しています。篆書にも精通して篆刻の作品も多数制作しています。「書写」の時間、子どもと接する機会に抱く印象として「今は一般的に、鉛筆の持ち方で筆を握り、軸を傾け、根本を持って書く子どもが多くなった」と言っています。

伝統の重みを胸に

奈良井範久校長は「地域の人々が学校に集い、子どもたちと交流する。そこで子どもたちは先輩の知恵を受け継いでいく。その繰り返しで伝統が築かれていく」と伝統の重みを語っていました。創立40周年の記念の年に現役の小学生でいることの記憶は、歴史の中の1ページに残る出来事として、書初めの指導も思い出のひとコマに加えられることと思われまふ。

神戸町会 しめ縄づくり

12月9日、神戸公民館にて、しめ縄講習会が開催されました。神戸町会在住の藤井哲雄さんを講師に招き、子どもから年配者まで参加者は約40人。毎年参加している人も初心者も、みな熱心にしめ縄を作りました。材料も町会内で、丸山恵司さん、松は鳥山国雄さんが提供しました。



作品の添削と指導

書初めの指導を受けた5年生は「文字の空間の取り方を教わって勉強になりました」と言い、「文字に合わせた力の入れ方や筆の入れ方、払い方を教わり、前よりうまく書けたと思う」と話していました。ほかにも「足にけがをしたので、床で書くのが大変だったけど、筆の持ち方や動かし方を褒められた」と喜んでいる姿も見られました。

(山楽子)

講師の藤井さんにお話を聞きました。「介護施設のボランティアでも教えているが、自分の親世代の人が一生懸命に作る。その姿を見ると、自分も一緒に作ることができてうれしいと思う。同じような気持ちなのか、講習会と一緒に来た幼児が、見よう見まねで自分で作ろうとする。そういう子どもたちがしめ縄に限らず、なくしてはいない地域に根付いた文化を大切に継承してほしい。」

この講習会が、地域の皆さんのためになればいいな。」と話す笑顔が印象的でした。

菅野小学校 50 周年記念式典

11月16日に、松本市立菅野小学校創立50周年記念式典が行われました。

来賓あいさつに続き、ササガオシドリザクラの記念植樹に尽力いただいた、榎本義臣さん、高山芳美さんに感謝状が贈られました。

児童による50周年記念学習発表は、

3年生 校区の地区探検プロジェクトに映し出される自分たちの知っている場所に、1年生が歓声を上げて発表が聞こえないくらいに。

2年生 学校の歴史 開校何年目に何ができたかなど、知らなかったことに皆感心していました。

1年生 おじいちゃんやおばあちゃんに聞いた学校の歴史や昔話 世代を超えてお話を聞くことの大切さが伝わってきました。

4年生 花壇づくり どんな花を、どんな苦労をして育てたか。毎年多数の受賞をしています。信州花フェスタにも参加。

5年生 お世話になった地域の皆さんに感謝の絵手紙 美ヶ原登山や稲の育成、いただいた野菜で作ったみそ汁など、自分たちの体験を絵手紙に。

6年生 はクラスごとに、**1組** 給食や運動会など、過去と現在の違いを調べ学習。**2組** ササガオシドリザクラについて保存会に勉強に。桜の葉を塩漬けにして桜餅を作りました。

3組 伐採した桜から製材し、いろいろなものを製作。引き受けてくれた製材所は奇跡の出会いです。

4組 図書館の小松先生などから校舎の歴史など教えてもらい、番組を制作。それぞれがしっかりと掘り下げられた、立派な学習でした。

午後は菅野小に在籍していたことのある、たにぞうさんによる50周年記念講演会が行われました。たにぞうさんはEテレの子供番組の歌やダンスの作者。児童全員が知っている歌に大盛り上がりでした。

午前の式典を終えて退場するとき、大騒ぎしたりせず、順序良く退場していく姿、そして、たにぞうさんを見送るときに全員が殺到しました。が、混雑もなくその後何もなかったかのように元の場所に静かに戻る姿は、先生方のご指導はもちろん、菅野小学校に50年、ずっと伝わってきた心を感じる事ができました。



みんなの知っている歌と遊びで大盛り上がり

平成31年がスタート 笹賀地区 新年祝賀会

平成最後となる新年を迎え、恒例の地区新年祝賀会が、1月5日にJA笹賀支所会議室で開催されました。

町会連合会や農業団体、教育や行政機関の代表者など約70人が一堂に会し、賀詞の交換を行い、地域の更なる発展や交流の促進などの抱負を語りあいました。

松井清笹賀地区町会連合会長は、ある民間シンクタンクの調査で松本市は、「子育てしながら働ける環境がある」が全国1位であり、総合ランキングで見た全国で成長の可能性の高い都市の中で第8位の評価を受けた事を紹介し、「これからも住みよい地域作りに向けて皆さんにご協力頂き、地域が一丸となった取り組みを続けて行きたい」と主催者を代表して挨拶しました。

新巻 まゆ玉づくり

笹賀公民館と笹賀地区食生活改善推進員では、地区の伝統行事である小正月の火祭り「三九郎」に欠かせない「まゆ玉」作りを行い、親子ら10人ほどが参加しました。

3つの班に分かれ推進員の方の指導を受け、蒸した米粉を練り、赤、青、黄色と着色。そして、まゆ玉、ナス、さや豆など定番のものから、星雪だるま、ねずみ、恐竜、お花などユニークなものもできあがり、大人にとってはびっくりでした。

今回は少人数の参加でしたが、大いに盛り上がりました。伝統ある行事は絶えることなく続いてほしいと思います。まゆ玉を作ることにより、小正月の意味や、祖先の方たちの想いを考える時間になったのではと思います。



平成31年 松本市成人式

1月13日(日) 松本市総合体育館で平成31年松本市成人式が開催されました。

今年の対象者は平成10年4月2日〜平成11年4月1日生まれの方で、笹賀地区では、131名(男性61名、女性70名)が晴れて成人を迎えました。おめでとうございます。